

平成23年度北陸地区国立大学学術研究連携支援報告書

研究グループ名		暗号フロンティア研究会 (支援期間：平成22年度～平成23年度)		
大学名	所属		氏名	
北陸先端科学技術大学院大学	情報科学研究科		○宮地充子	
北陸先端科学技術大学院大学	情報科学研究科		面和成	
北陸先端科学技術大学院大学	情報科学研究科		鍾 啓源	
福井大学	工学研究科		○廣瀬勝一	
※ 各大学の研究グループ責任者の氏名には○印。				
その他の機関の構成員	機 関 名	所 属	職 名	氏 名
	独立行政法人産業技術総合研究所	情報セキュリティ研究センター		大塚 玲 花岡 悟一郎
成果概要	<p>近年、電子社会の進展およびユビキタス機器の普及に伴い、暗号学は様々な技術分野と融合し、新しいアプリケーションの実現に必要な不可欠になってきている。暗号学のパイオニア研究や新しい展開・応用先を発掘するフロンティア研究は、安全・安心な電子社会のさらなる促進に向けて、ますます重要になるといえる。</p> <p>このような背景のもと、我々は以下を目標として、暗号フロンティア研究会を設立した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第一線の研究者間の人材交流。 2. 異なる組織で行われている最先端の研究の融合。 3. 異なる研究分野の有機的な結合，融合。 4. 第一線の研究者のさらなる研究発展のためのインスピレーションの交換。 <p>暗号フロンティア研究会では、今年度、以下の研究者に招待講演を依頼し、9月8日、北陸先端科学技術大学院大学において研究会を実施した。</p> <p>湊真一（北海道大学） 竹田正幸（九州大学） 小川一人（NHK 放送技術研究所） 高木剛（九州大学大学院数理学研究院） 高島克幸（三菱電機） 満保雅浩（金沢大学）</p> <p>構成員もそれぞれ講演を行った。さらに、講演終了後には、講演者のみで研究に関するフリーディスカッションを実施し、各講演者の研究分野の融合や新しい研究課題の開拓に関して議論した。</p>			
獲得した外部資金	<ul style="list-style-type: none"> ・基盤研究(A)(一般)(平成21年度～平成25年度) 『センサネットワークの安全・安心を保障する情報セキュリティ技術の研究』 ・基盤研究(B)(一般)(平成20年度～平成23年度) 『安全な情報の提供を可能にする認証付データ構造の研究』 ・基盤研究(C)(一般)(平成20年度～平成22年度) 『効率的なサービス不能攻撃対策の研究』 			